

科目名		設計製図A			
担当教員		広川 智子		実務授業の有無	有
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで設計の基礎的な方法を理解しておく必要があります。そのために授業では、道具の扱い方、線の書き方、木造2階建ての図面を中心に解説します。設計方法と木造の図面が理解でき、設計できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→課題：2階建て設計図（配置図、平面図、立面図、断面図、矩形図）を仕上げます。最後の授業で木造2階建ての設計図の課題を提出します。			
学習目標 (到達目標)		前期は設計の基本的な方法と木造の設計図を学び、課題を提出し設計技術の習得を目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①初学社の建築講座 建築製図 著者：瀬川康秀 発行：市ヶ谷出版 ②製図道具一式、製図版			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	製図道具の確認・記名・説明			製図道具は全員が同じ道具を使うので、中身を確認してしっかりと記名する。道具の使い方を習得する。	
2	基本練習 (線の描き方)			芯の太さの違うシャープペンシルを使い分けて、線の太さ・濃淡の違いを体験する。A4サイズで提出する。	
3	基本練習 (平面図各部と文字の練習)			通り芯・壁・開口部・設備機器等の描き方を学ぶ。製図用の文字も習得する。	
4	課題1 配置図、平面図			木造平面図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズのレイアウトに注意して全員で順番に描き進める。特に線の使い分けを習得する。完成後提出する。	
5	課題2 立面図・断面図			木造立面図と断面図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズにレイアウトして全員で順番に描き進める。特に屋根や開口部、建物の断面構成を習得する。完成後提出する。	
6	課題3 矩形図			木造矩形図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズにレイアウトして全員で順番に描き進める。特に細かい部分の寸法を意識して描く。完成後提出する。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			建築士試験の二次試験の基礎となる部分です。線の太さと濃淡を意識してくっきりとした線を心がけてください。見やすい図面を完成させ提出期限を守り、木造の設計技術に関して習得することを目標とします。取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。	
90 %	10 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		住宅設計に10年以上従事			